

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。  
さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与すべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記項目の受託を開始することになりました。  
取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

- ノロウイルス抗原〔BLEIA〕 :項目コード 7844

### 受託開始日

平成30年10月1日(月)受託分より新規受託開始


▼ 今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目を中止させていただきます。

項目コード	検査項目	受託中止日
7957	ノロウイルス抗原〔EIA〕	平成30年9月29日(土)最終受託分をもって受託中止



保健科学研究所	〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106	TEL.045-333-1661
保健科学東日本	〒365-8585 埼玉県鴻巣市天神3-673	TEL.048-543-4000
保健科学西日本	〒612-8486 京都府京都市伏見区羽束師古川町328	TEL.075-933-6060
保健科学東京	〒160-0001 東京都新宿区片町3-3	TEL.03-3357-3611
保健科学新潟	〒950-0054 新潟県新潟市東区秋葉1-6-31	TEL.025-275-0161

## 新規受託項目

項目コード	検査項目	検体必要量	容器保存方法	検査方法	基準値(単位)	所要日数	実施料判断料	備考
7844	ノロウイルス抗原(BLEIA)	糞便 専用採便容器 容器コード:ニ 	冷蔵	BLEIA 法	(-)	※1	未保険	*ア

※1:所要日数は時期によって異なります。4～9月:3～8日 10～3月:3～6日

検査場所:保健科学 第2ラボラトリー(略号:\*ア)

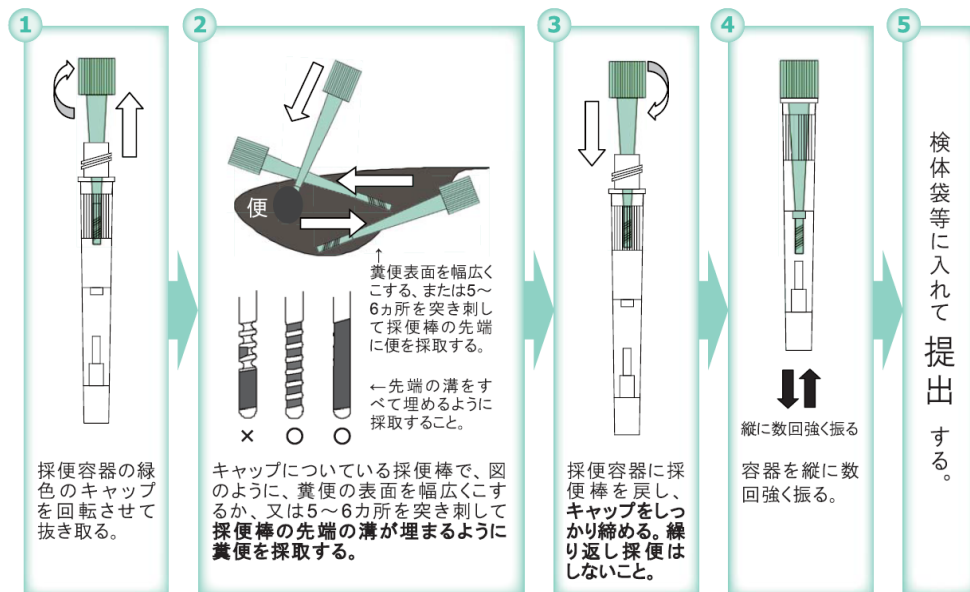
### ▼ 臨床的意義

ノロウイルスは冬季に流行する感染性胃腸炎の原因ウイルスで、大規模な食中毒事件を引き起こします。近年では、調理従事者を介した食品の二次汚染が原因と考えられる事例も増加しています。ノロウイルスによる食中毒の防止には調理従事者等のノロウイルス感染の有無を把握することが重要で、厚生労働省の「大量調理施設衛生管理マニュアル」には、「調理従事者等は、月に1回以上の検便を受けること。また、必要に応じ10月から3月にはノロウイルスの検査を含めること。」と記載されており、より高感度な遺伝子検査法による検査が推奨されていますが、遺伝子検査法は高コストで煩雑な操作を要することから十分には普及していません。

ノロウイルスは遺伝子群Ⅰ(GⅠ)～遺伝子群Ⅴ(GⅤ)の5つの遺伝子群に分けられます。このうち、主にヒトに感染するのはGⅠ、GⅡです。さらに、GⅠおよびGⅡは30種類以上の遺伝子型に分類されます。本法はPCR法と同程度の感度と幅広い遺伝子型に対する反応性を有する方法で、流行の主流を占めるGⅡ.4を含めGⅠ.1、GⅠ.4、GⅠ.8、GⅡ.1、GⅡ.2、GⅡ.3、GⅡ.5、GⅡ.6、GⅡ.12、GⅡ.13、GⅡ.16、GⅡ.19にも良好な反応性を示します。

本法の検出限界は、 $10^5$  から  $10^6$  コピー/g 糞便と推測され、PCR法と同等の感度を有することから、日常的な検便検査、すなわち大量調理従事者等のノロウイルス検査に有用と考えられます。

### ▼ 検体の取り方



### ▼ 検査方法参考文献

酒巻 望:モダンメディア 63(6):6, 2017